

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100765
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム はらら
所在地	鹿児島県鹿児島市原良2丁目10番11号 (電話) 099-210-5524
自己評価作成日	平成24年10月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が心身共に穏やかに過ごせるよう、思いや不満に耳を傾け、利用者の意思や希望に添えるよう、支援介護に心がけています。
また、残存機能を活かし、可能な範囲で自分でできることはしていただきながら、自立支援に向けた取り組みをしています。
外出や外食の機会も多く取り入れ、ホームにおられても家庭生活のぬくもりや地域とのつながりを感じていただけるように支援を行っています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年4月12日

- ・ホームはスーパーマーケットや医療機関・警察など利便性のある地域の一角に立地し、2階と3階がグループホームである。
- ・全職員で利用者の今ある機能を劣えさせないように、自分でできることは行う自立の支援をしている。また、職員と一緒に、食事の準備や雑巾縫い・洗濯など、日々の暮らしを楽しんでいる。
- ・長い廊下を毎朝、音楽に合わせて歩行運動したり、歌を歌いながら体操したり、車椅子の利用者もそれぞれの機能に合わせて運動している。
- ・管理者は、校区文化祭への参加など、地域に根ざしたホームづくりのために、地域との交流に取り組んでいる。
- ・職員のチームワークがよく、利用者支援について研鑽を積み、職員の温もりのある支援の成果をみることができる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設して間もないこともあり、まだまだ理念の共有や実践につなげることは難しいが、来年度からは、職員全員で理念を作り直し、定期的に見直しを行っていく予定である。	理念は、玄関に掲示しホームの案内にも載せている。理念をもとに日々の支援を行っている。今後、理念を職員全員で話し合い、ホーム独自の理念として更に見直しの予定である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や買い物へ出かけたり、地域の行事に参加したりと、地域の方に事業所を知っていただき地域とつながっていけるように努めている。	地域の夏祭りや校区文化祭・運動会等に参加したり、公園に散歩に行った時に近隣住民と挨拶を交わしたりしている。ホームでボランティアの受け入れをしている。今後、地域との繋がりを取り組みを計画している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の民生委員や幼稚園、小学校に広報誌を配布し、認知症に対する正しい理解をしていただけるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者やサービスの状況だけではなく、施設サービスへの要望、助言等について意見交換ができるようにしている。又、検討項目については、今後のサービスに活かせるように努めている。</p>	<p>運営推進会議では、利用者や家族代表・地域包括支援センター職員等が出席し、利用者の状況やホームの行事の報告をしたり、参加者から要望や助言等があり意見交換を行っている。出された意見等は検討しサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>管理者、ケアマネージャーは市町村へ出向き、担当者との連携（事業所の考え方、運営や現場の実情等を伝える場）を作っている。又、相談等もその都度行うようにしている。</p>	<p>市担当者とは、日頃から連携をとり、事業所の実情や取り組み状況、家族からの要望などを相談し、指導やアドバイスを受けている。地域包括支援センターからも情報をとり、協力関係を結んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を設置し、ミーティング等で身体拘束に関する勉強会を行なっている。又、当施設においては、「身体拘束全面禁止」を掲げて取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束全面禁止」を掲げて、身体を拘束しないケアに取り組んでいる。日中の玄関の施錠はせずにブザーを取り付けているが、外に出たい希望の時は、職員が気を利かせ一緒に外に出かけている。家族の協力を得る時もある。言葉による拘束にも配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	入職時研修の中で、高齢者虐待防止法についての研修を行っている。又、年間内部研修の中でも研修の機会を設けるなどし、虐待に対する理解や防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	外部研修の機会を設け、必要な時に支援を行えるよう計画している。現在のところ事例はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は十分な時間を取り、解りやすく丁寧な説明を心掛けている。説明し終えた後には、理解できないところはないか確認している。特に重要な点については、詳しく説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者からの意見、不満、苦情についてはその都度、記録や報告を行い、ミーティング等において話し合いを行っている。又、運営推進会議で出された意見は、運営に反映できるように努めている。	玄関に意見箱を設置し、利用者や家族から気軽に要望や意見が入っている。利用者からは、日頃からゆっくり時間かけて話を聞いている。家族からは面会や催し物の際に管理者や職員で、声かけを行い要望や意見等を聞いている。出された意見は記録してミーティングで話し合いを行い運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>リーダー会、フロア会議、委員会等を定期的に行い、職員からの意見や提案を聞く機会を多く設けている。又、職員の意見が運営に反映できるように努めている。</p>	<p>代表者・管理者は、職員からの運営に関する意見やアイデアを会議の中で聞いたり、個人的に聴いたりしている。出された意見等はすぐに運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、管理者や職員それぞれの努力や仕事に対する熱意等の勤務状況の報告を受け、各自が意欲向上に向かえるような職場環境等の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修計画を立て、ミーティングでの定期的な研修を行っている。又、職員の経験や役割に応じて、外部研修参加の機会を設けている。外部研修に参加した職員は、ミーティング報告を行い、職員間での共有に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者は、管理者や職員が地域包括連絡会や運営推進会議などに参加し、同業者との交流や情報交換等を行い、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用について相談があった場合は、事前面談として本人にお会いして、生活状態、心身の状況、本人の思い等に向き合い、受け止めることができるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初めてサービスの利用相談に来られた際は、最初から利用の相談を進めていくのではなく、家族とのコミュニケーションを大切にし、ご家族の困っている事や不安な事、今までのサービス状況等をゆっくり聞くように努め、その上で相談に繋げている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思いや状況等を確認し、ゆっくりと話を聞いた上で必要なサービスを提供できるように努めている。必要があれば、他事業所とも連携をとれるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の支度や洗濯等、家事全般にわたってできることを一緒に行えるように努めている。又、年配者の知恵や昔の習慣等、解らない事は尋ねるようにし、共に支えあう関係を築いていけるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、広報誌を作成し生活の様子や健康状態など報告して、日々の暮らしの出来事や気づきの共有に努め、本人と一緒に支える為にご家族との関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所を把握し、関係が途切れる事がないよう、電話や手紙などでいつでも連絡がとれるよう支援している。	馴染みの関係を利用者や家族から把握している。家族や親戚・友人・知人の訪問が多い。行きつけの美容室に出かけたり、車椅子使用の方も同行支援して、馴染みの人や場の関係が、途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が支えあって暮らしていけるように、職員は利用者同士の関係を把握し、日々の生活の中で助け合い関係ができるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在、サービス利用継続しておられ、終了している方はおられない。今後は契約終了後も、本人やご家族のフォローができるように努めたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアマネージャーは定期的に本人の意向をお聞きし、本人の希望する暮らしに近づけるような支援に努めている。又、意思疎通が困難な場合でも、本人の立場になり検討している。	一人ひとりの思いや希望は、日常の会話の中から聞いたり、些細なしぐさなどから思いをくみ取っている。困難な利用者には家族に聞いたり職員と話し合い、利用者本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始の際、面談等により本人のご家族や関係者から本人独自の生活歴やライフスタイル、個性や価値観等を聞き取り、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的なモニタリング等により、利用者一人ひとりの好む生活スタイルを把握すると共に、行動や小さな動作から本人の全体像を把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の意向や要望を聴取した上で、毎月のカンファレンスでの意見やモニタリング、主治医の意見やアドバイス等を反映した介護計画の作成に努めている。	介護計画は、本人や家族からこれまでの生活歴や思い・希望を聞き、主治医・職員で話し合い作成している。モニタリングは6ヶ月毎に行い、状況に変化が生じた場合は、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録にて、身体状況や日々の暮らしの様子、本人の言葉やエピソード等を記録しており、常時職員が確認できるようにしている。又、朝夕の申し送りや業務開始前の日誌の確認を義務づけている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族の要望に応じて、通院や外出の支援を行うなど、個々の利用者のその時々に必要な支援に柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人の意向や必要性に応じて、地域資源との協働やボランティアとの交流に努めている。今後は、より多様な地域資源のとの協働に取り組んでいきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に本人やご家族が受診を希望される医療機関の確認を行っている。又、事業所の協力医療機関での受診を希望される場合は、丁寧に説明を行っている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。職員が同行して診療を受ける場合もある。協力医療機関から月2回往診や専門医の往診もある。事業所とかかりつけ医が連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員は常に利用者の心身の状況の把握に努めており、日々の体調管理を行っている。又、オンコール体制を取ることで、利用者の体調不良時や急変時等にも常に適切な対応ができるように支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院された際は、病院に見舞う等し、環境の変化に伴うダメージが少しでも軽減できるように利用者との関係の継続に努めている。又、医療機関やご家族とも連絡を取り合い、利用者の早期退院と適切な医療が受けられるように情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族に早い段階で看取りについて向き合っていただき、「重度化した場合の対応および看取りに関する指針」についての説明を行ったり、「終末期における意思確認書」を取り交わす等し、互いの方針の共有を行っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針は早い段階で指針を示し、本人や家族と話し合い説明して、終末期における「意思確認書」を取り交わしている。利用者・家族・主治医・職員など、方針の共有をしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入職時に急変時対応マニュアルにて研修を行っている。今後も看護師を中心として定期的な訓練等を行う予定である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと、定期的に消防訓練を行っている。今後は、夜間想定訓練も計画しており、全職員が災害時の避難誘導への対応できるように指導を行っていく。又、地域の協力が得られるような取り組みを進めていきたい。	年2回、消防署の指導のもと、防災訓練を行っている。夜間想定訓練や地域の協力体制は準備を進めている。災害時の食料等の備蓄は検討中である。	夜間想定訓練や地域の協力体制・災害時の備蓄を早急に対応されることを期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや声かけに際しては利用者の尊厳重視に努め、職員の意識向上や具体的な対応方法についてはミーティング等において話し合っており、一人ひとりの人格の尊重やプライバシーの確保について確認を行っている。	人格を尊重し、できる事や特技等を把握している。トイレ誘導時には、プライドを傷つけないように配慮し、さりげなく支援している。ミーティング等で、利用者への声かけや言葉使い・対応について研修を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日課を優先するのではなく、本人の希望を聞き取り、優先して行えるように努めている。又、支援の中で自己決定できるような場面をたくさん作れるよう支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、時間を区切った過ごし方はしていない。一人ひとりの体調や状況に配慮し、本人の気持ちを尊重して、できる限り個別性のある支援を行うように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時や入浴時など洗面所にて鏡を見ていただき、身だしなみやおしゃれができるように支援している。又、可能な範囲で洋服も選んでいただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者のその日の状況に応じて、買い物、調理、盛り付け、片付け等を一緒に行うことができるように努めている。又、嗜好調査を行い、少しでも美味しく食べて頂けるよう配慮している。定期的な外食も計画し、利用者に喜んでいただけるように努めている。	食事の献立を一緒に考えたり、嗜好調査を行い要望に合わせて食事提供をしている。個々の力に応じて調理や盛り付け・買い物等、職員と一緒にしている。定期的に外食に出かけたり、誕生会や花見などの行事食を提供し楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	健康状態や疾患等を把握し、一人ひとりの状態に応じた食事の提供を行っている。又、食事摂取量や献立を記録し、健康状態の把握に努め、必要に応じて栄養補助食品等の摂取を支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけを行い、利用者に応じて見守りや介助を行っている。義歯の利用者には、義歯洗浄剤の使用を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時に声掛け、トイレ誘導を行い、できるだけトイレでの排泄を促している。又、排泄チェック表を利用し、排泄の自立に向けた支援を行っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し排泄チェック表で、時間帯をみたり、しぐさから声かけし、トイレ誘導をしている。利用開始時よりオムツの使用が減っている。トイレでの排泄の自立ができるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や適度な運動を行っている。又、毎食事時やおやつ時に便通に良い食材を取り入れるようにしている。 かかりつけ医に相談を行い、それぞれの利用者の状態に応じた服薬の介助を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの体調に合わせて入浴日や時間を決めている。又、その方に合った入浴介助の支援を行っている。	入浴日は週3回と決めているが、自分で入浴できる利用者や仲のよい者同士一緒に入浴することもある。入浴剤を使ったり、シャワー浴等、入浴が楽しみになるような支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	できるだけ日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。又、一人ひとりの体調や表情、希望等を配慮して、ゆっくり休息がとれるように配慮を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服一覧表にて全職員が利用者一人ひとりの服薬の内容を把握できるようにしている。服薬時は誤薬がないように、個別のケースを用意し薬の管理を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備や片付け、園芸や季節の行事等、利用者の知恵や経験を発揮できる場面を作るように努めている。又、外食やドライブ、誕生日会等楽しみ事や気分転換の支援も多く行えるよう計画している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の体調や希望に応じて、日常的に散歩や買い物、ドライブ等の機会を多く作り、心身の活性に繋がるよう努めている。又、ご家族の理解と協力がいただけるよう働きかけている。	日常的に天気や体調に合わせて個々の希望に応じて散歩や買い物に出かけている。車椅子の利用者も外出支援をしている。花見見物や外食等をドライブ気分で計画を立て、家族に協力を得ている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	定期的に外出し買い物に付き添い支援している。買い物は預かり金の中から遣っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人から希望や必要がある場合は、いつでも家族などへ電話ができるように声かけや援助を行っている。手紙については切手やはがきを一緒に買いに行き、出すなど行ってる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所には仕切りがなく、調理の音や匂いを感じながら、家庭的な雰囲気でも過ごすことができるように配慮している。又、室温・湿度に気を配り、居心地良く過ごせる空間を作っている。又季節に合わせた作品の制作等も行っている。	共用空間は明るく温度や湿度に配慮され、台所と対面式になっており、利用者と職員が会話を楽しみながら過ごせる空間になっている。利用者の作品や季節の飾りがなされている。広い廊下があり、掃除も行き届いて居心地よく過ごせる工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間にソファや椅子等を置き、リビングで独りになったり、他の利用者と会話をしたりと、その時その時の気分に応じて好きな場所で過ごせるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>それぞれの利用者の好みや馴染みの物をご家族に用意していただいたり、生活スタイルや本人の要望に応じて必要なものを職員が用意する等して、本人が居心地良く過ごせるように努めている。</p>	<p>居室は利用者と家族で相談して馴染みの壁かけや写真・椅子・冷蔵庫等が置かれ、それぞれ個性があり、居心地よく過ごせるように工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室、玄関、ホールやトイレ、浴室等の住環境においては、利用者が安全で自立した生活を送れるように、環境作りを行っている。又、利用者の状態に応じた環境整備の見直しを行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない